

エコー下穿刺の指導

○曾我嘉博

松山大輝・松岡晃一・廣瀬陽子
・本山賢次・永井巧雄・永井賢一

はじめに

当院では超音波診断装置でのVA管理は臨床工学技士(以下CE)が行っている

そのため、穿刺困難患者におけるエコー下穿刺もCEのみで施行していた

そこで、看護師にもエコー下穿刺を可能とするため、事前アンケートを基に実技指導を行ったので、報告する

取組みの流れ(期間:4ヶ月間)

1

•事前アンケート(看護師全12名)

2

•装置の説明、使い方指導(対象看護師5名)

3

•シュミレーター使用による模擬練習

4

•エコー下穿刺

5

•穿刺後評価

6

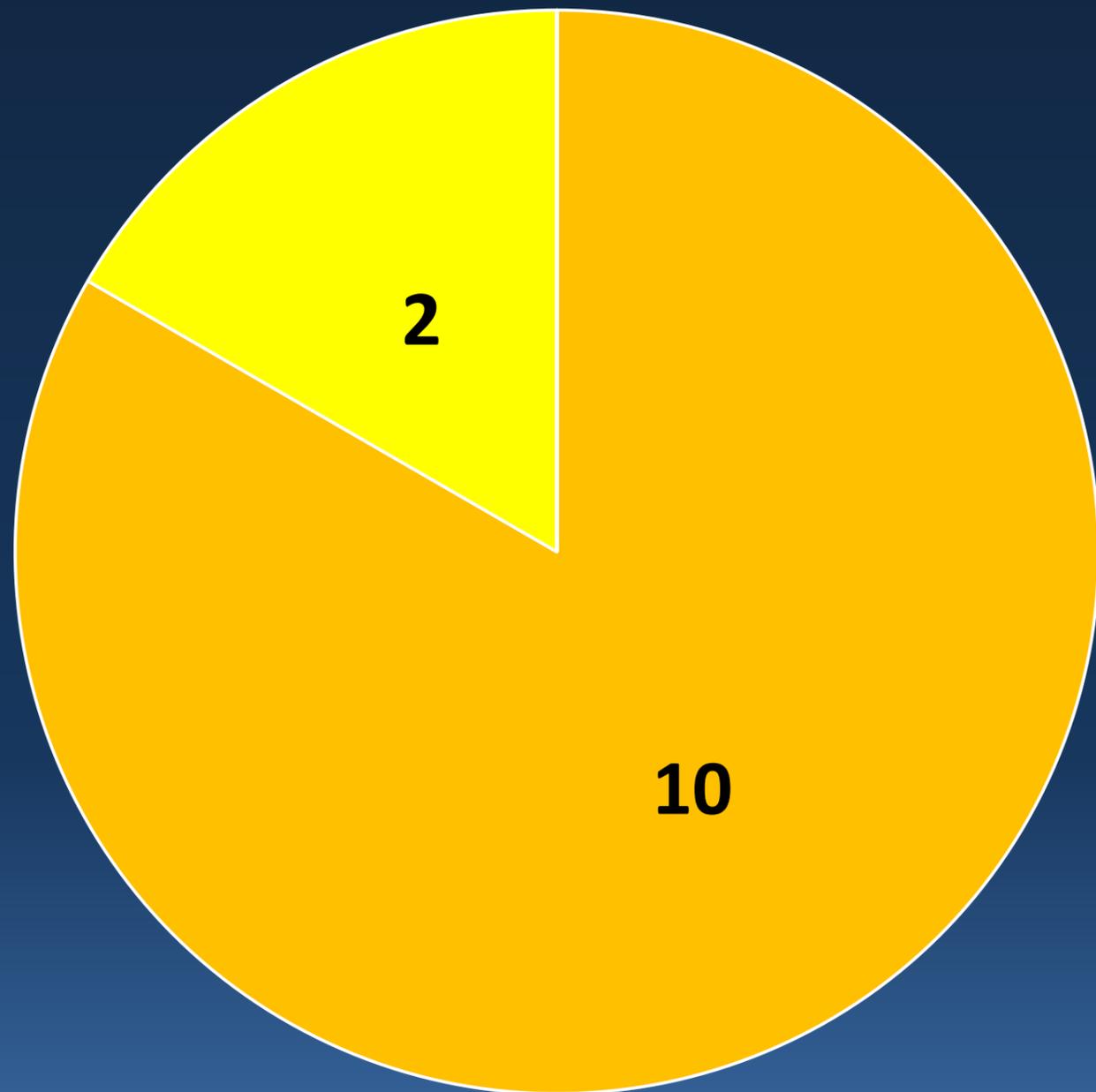
•事後アンケート(対象看護師5名)

1カ月

3カ月

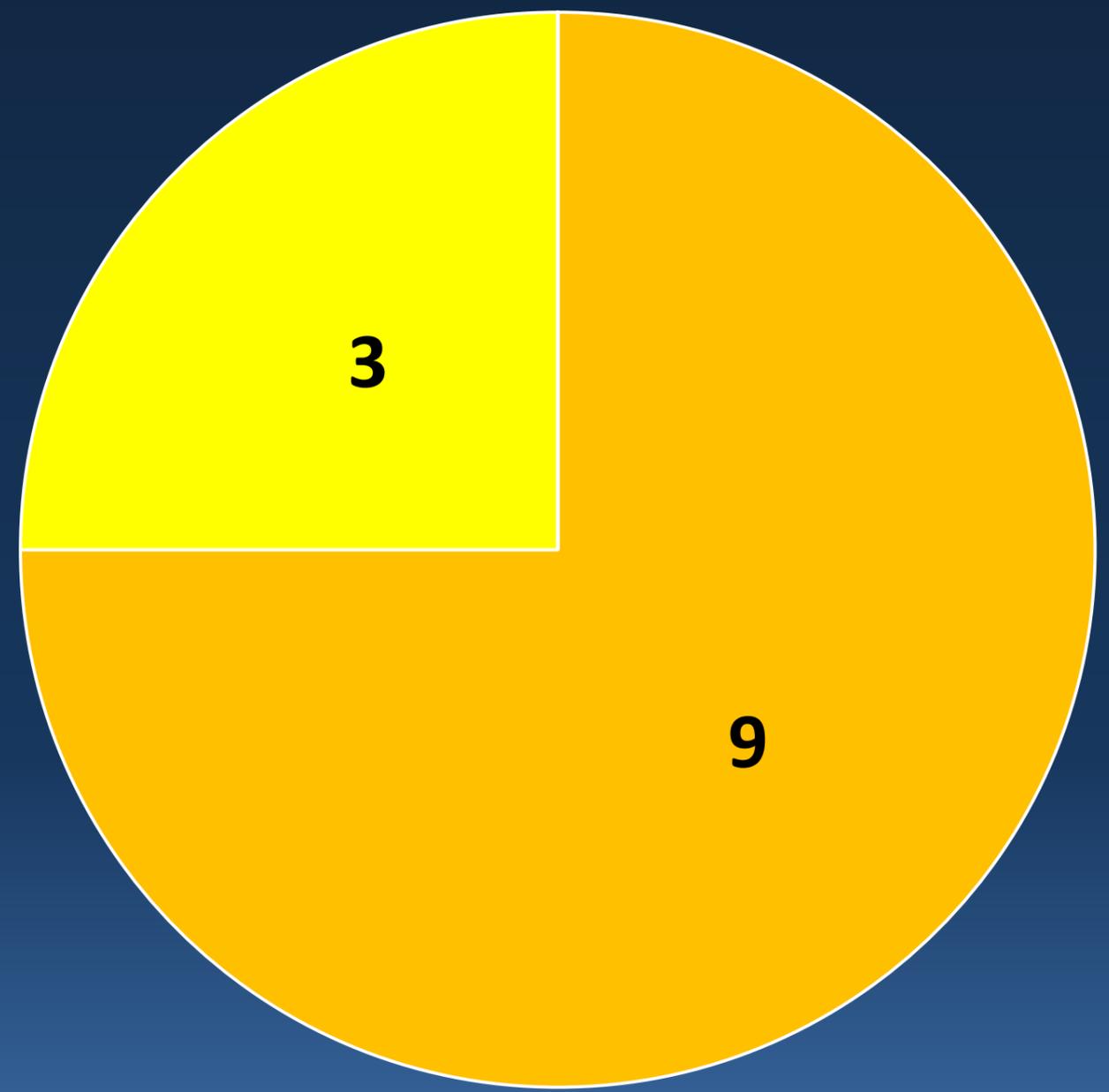
事前アンケート①(当院看護師全12名)

エコー下穿刺ができるようになりたいと思いますか？



■ 思う ■ 少し思う □ あまり思わない □ 思わない

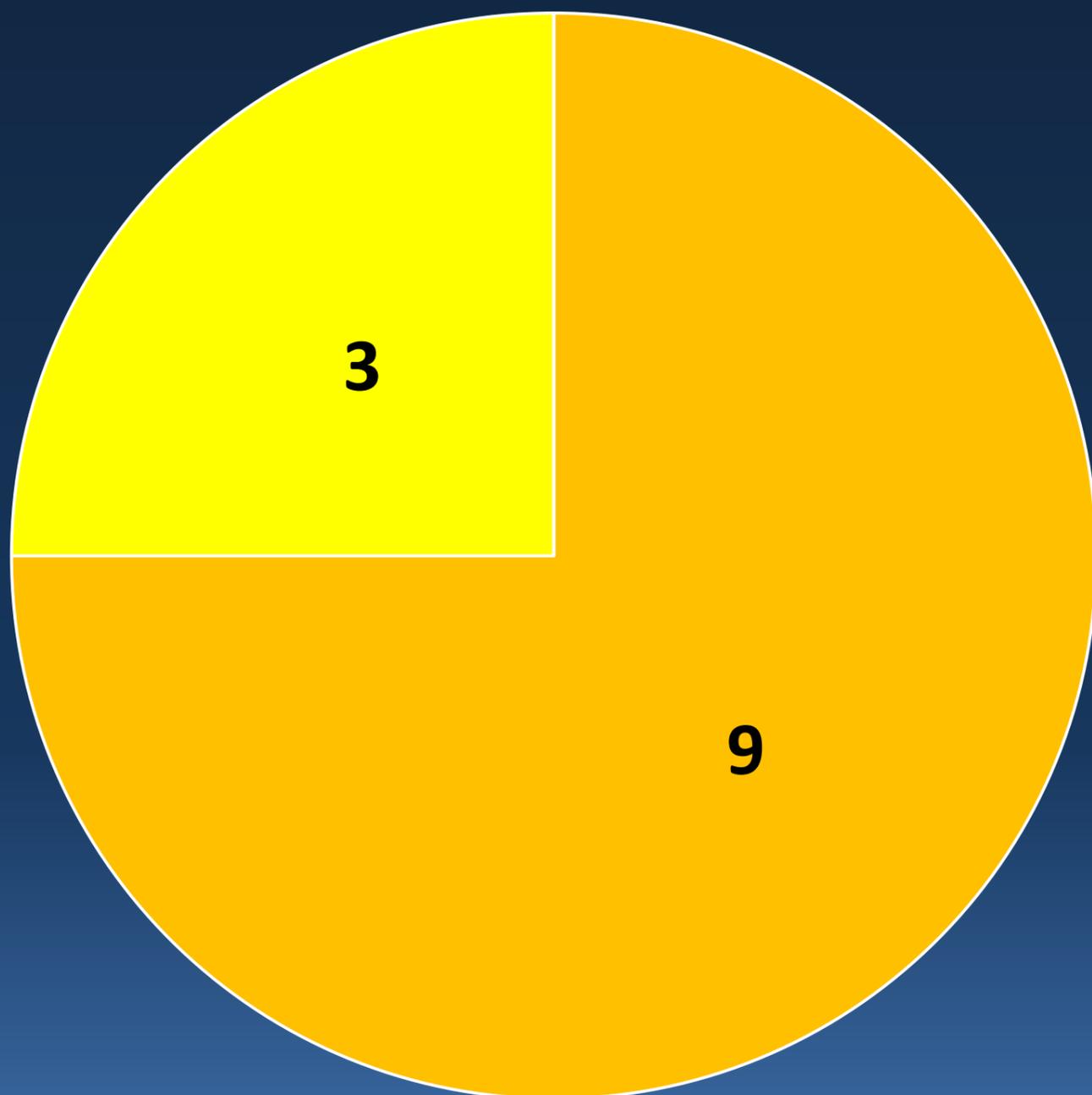
エコー下穿刺の必要性は感じますか？



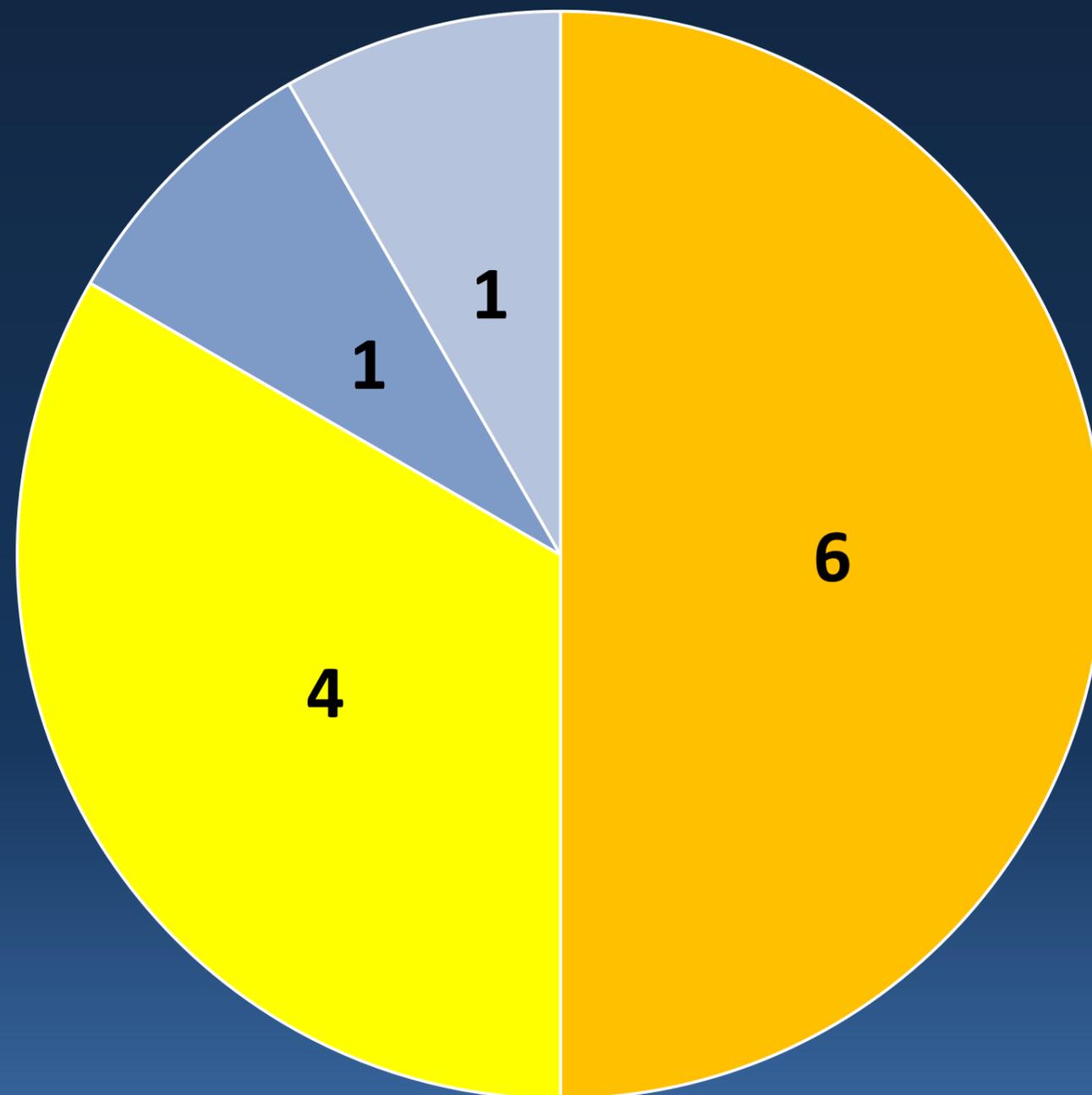
■ 感じる ■ 少し感じる □ あまり感じない □ 感じない □ 分からない

事前アンケート②（当院看護師全12名）

エコー下穿刺は難しいと思いますか？



エコーの使用に苦手意識はありますか？



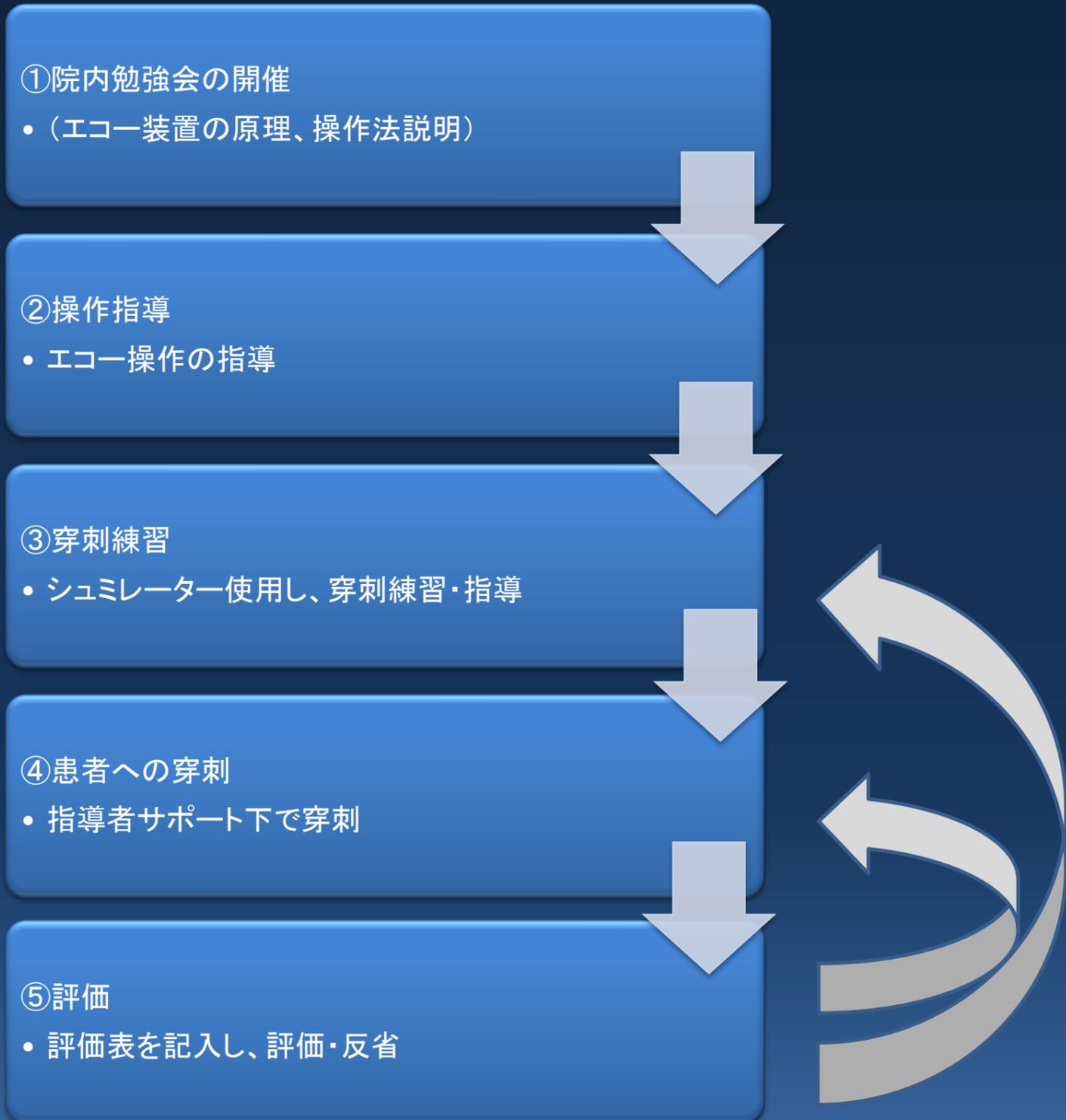
■ 思う ■ 少し思う □ あまり思わない □ 思わない

■ ある ■ 少しある □ 特にない □ わからない

難しいと思う理由（複数回答可）



エコー—評価表



エコー下穿刺評価

H30年 月 日 ()

穿刺者： ○ ○ (2 回目) 技 士 : ○ ○

患 者： ○ ○

シャント： 右 ・ ④左

穿刺部： ①A ・ V

結 果： ①成功した 2.アドバイスをもらって修正した
3.手を代わって修正した 4.再穿刺した

a.挿入部がずれた ②b.針先を見失った c.左右が分からなくなった d.角度が足りなかった
e.血管へ挿入出来なかった f.下壁を突いた(突きそうになった) g.血管の固定が出来なかった
h.画面が見えづらかった(体勢が悪かった) i.血管をうまく映せなかった
その他()()

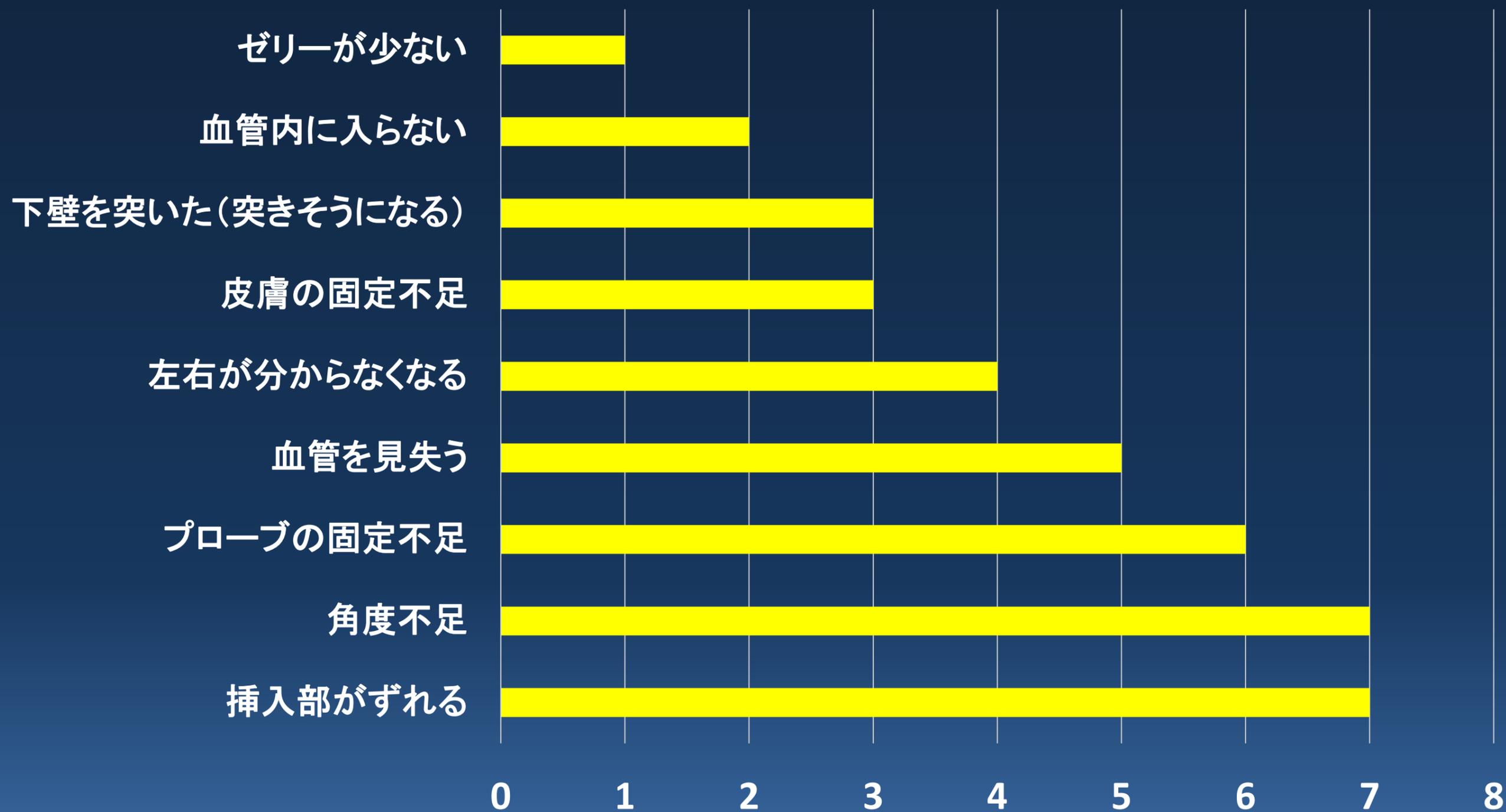
感 想：今日はイゾソゲルを使用して開始した。はじめは針先をプローブでとらえられず、進め方が早かったかも。後半助言をもらいゆっくり先端にプローブを合わせる事ができたと思います。

指導内容： 針先よりプローブを先に動かすコツを途中からつかんできていた。

エコー操作指導及び穿刺練習

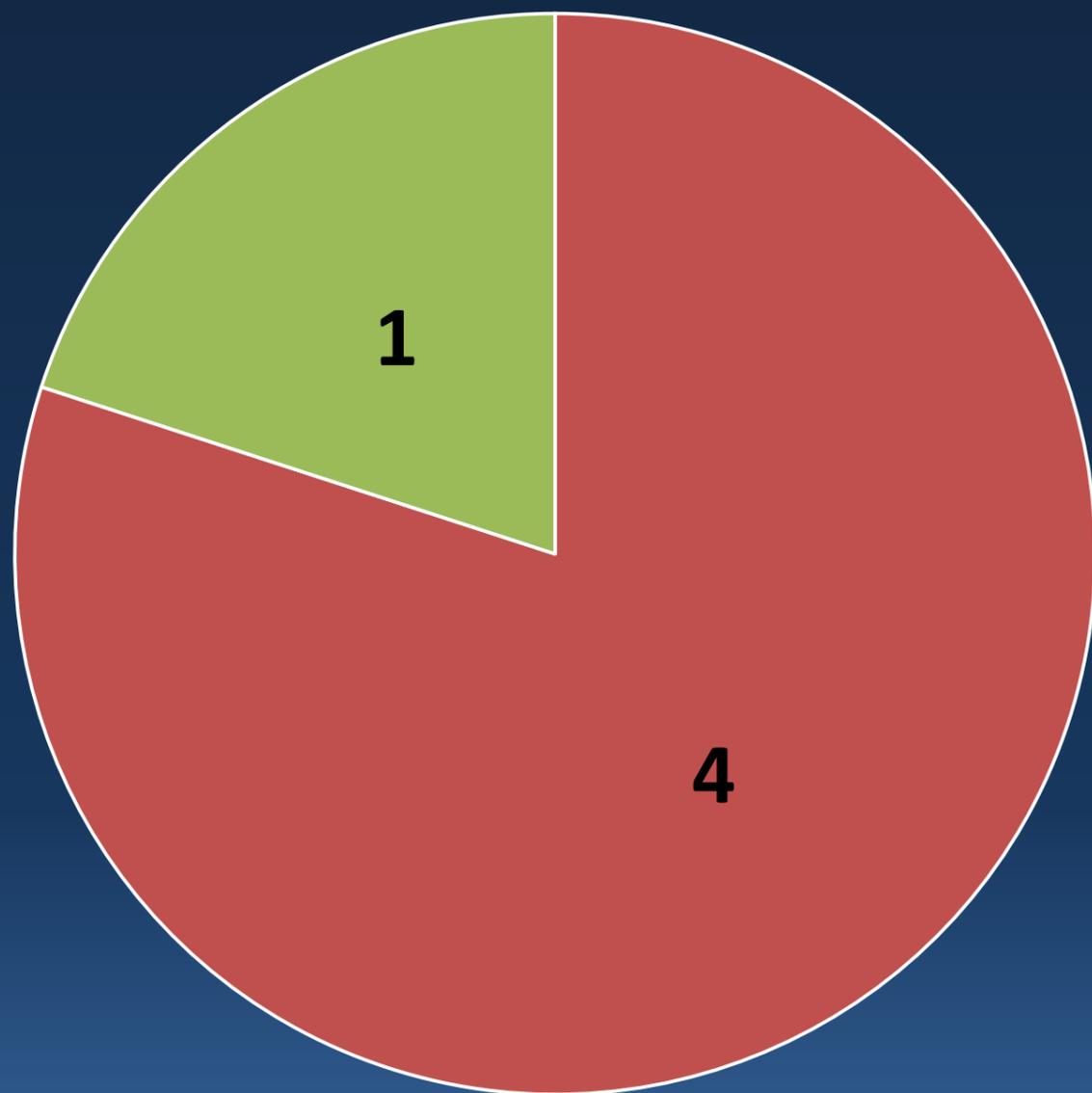


エコー下穿刺後の評価内容



事後アンケート結果①

エコー下穿刺ができるようになったと
思いますか？



□ 思う □ 少し思う □ あまり思わない □ 思わない

- 針先をエコーで追えるようになった
- ひとりではまだ不安（サポートが必要）
- もう少し時間が掛かる
- もっと出来るようになりたい

事後アンケート結果②

エコーの使用に対する苦手意識は改善
できましたか？



5

- できた
- 少しできた
- あまりできなかった
- できなかった
- わからない

- 画面の見方・操作方法がわかるようになった
- 長時間かけず確実に穿刺できる
- お互いの穿刺の不安が軽減される
- ひとりで修正を行うことができ自信になった

考察

- アンケート結果を基に指導を進めることで、焦点を絞って行えた
- シュミレーターを使用することで患者穿刺までの練習を十分重ね、穿刺者不安を軽減しました
- 穿刺ごとの評価を行うことで、個々のケースにより対応が可能となった

結 語

- サポート下での、エコー下穿刺が可能となった
- 穿刺困難患者に対し、看護師へのエコー下穿刺実技指導は有効だった

日本透析医学会 COI 開示

筆頭発表者名: 曾我 嘉博

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。